

設立 平成24年 5月15日
開塾 平成24年 9月 8日
発行 平成27年 8月 8日
(37号)



[事務局] 〒648-0094
橋本市三石台4-1-15
TEL 0736-38-3669
FAX 0736-38-3680
文責 事務局 宮本眞弓



第四期入塾

お慶び申し上げます。
それそれの自覚と使命の実現に、これから
「あいともに」学び続けて参りたいと思います。

第四期塾生 69名 世話人 10名 顧問 2名 事務局 1名 総員 82名

「感謝の心」

世話人代表 細川三郎

今から丁度七十年前は、どんな年だったでしょうか。終戦の年、昭和二十年頃です。何かのご縁で七十年の節目にこうして人間学塾中之島に入塾されましたことを、先ずお祝い申し上げます。おめでとうございます。

さて、大多数の方が戦後のお生まれだと存じます。皆様方の御両親の時代です。食することに不自由をした時代でもございました。それが七十年が過ぎ、現在のこの豊かな日本になってまいりました。これはすべて皆様方のご両親のおかげと感謝したいものです。この良きご縁を少々振り返り、ここまで支えて下さった諸先輩方に感謝を申し上げたいと存じます。

当塾は、天分塾十四年を経て、人間学塾・中之島として新発足を致しました。天分塾の良き時代は、鈴木先生をはじめ西中先生、寺田先生のご指導を仰ぎ、三年前人間学塾・中之島として今日に至っております。ありがとうございます。この一期を担って下さった清水代表に先ずは塾生を代表して感謝の念を伝えたいと存じます。ありがとうございます。清水代表が一期の入塾で皆様にお伝えになったことを記してみたいと思います。

①天分塾の良きDNAを引き継ぐ
今も唱和しています三つの誓い
小さいことをやり続けること

②全員が良きリーダーであってほしい
天分塾の14年は何も考えずとも、鈴木先生・西中先生・寺田先生の御三方の先生が導いて下さいました

③森信三先生を中心とする教えに学ぶ
心に響く短文の言葉、時を守り場を清め礼を正す、そして修身教授録等

④講師と共に実践の道を歩む
師と仰ぐ故郷を訪ね学びを深める等々

さて、石田梅岩先生の言葉に「一日の懈怠は百日となり、百日の懈怠は一代となる」というものがあります。この教えに従い、清水代表は三十年にわたり、思い続けてこられた石田梅岩先生の研究をされ、その教えを日本及び世界に広めるべく生涯をかけて取り組まれました。石の上にも三年と申します。三年の長きにわたりこの人間学塾中之島を立派に育てて下さいました。さて今期も良き教えを守りながら、未来に向かって自立の道を進みたいと存じます。自立の方策は、現在世話人会にて練り上げて下さっています。決定致しましたらよろしくお願い致します。

最後になりますが、当塾の寺田顧問が本日出席されて皆様にお祝いのご挨拶をされる予定でございました。が、体調のことがございまして、お目にかかりご挨拶かなわらず残念でなりません。念ずれば通ずるとい言葉もございまして。今日は一日どうか先生の体調が回復し、富士のお山にもう一度登れますよう、この会場で皆様と御一緒に森信三先生の哲学を学びたいと存じます。最後の最後となりますが、皆様で先生の回復を念じて、またこの会場でお会い出来ることを願い、念じ続けたいと存じます。

そして今日お集まりの方々が、今期一年健康で過ごされたいことを願ひ、私のご挨拶に変えさせて頂きます。本日は入塾おめでとございます。

入塾式



来賓
鈴木民二先生



来賓
西中 務先生



細川三郎代表



歓迎の集い



清水正博顧問



私の「入塾動機・目的」

「Aグループ」

愛原啓介

継続こそ会社や家庭、人間関係で役に立つのかもしれない。もともと若い世代にアピールしたい。軽い感じで参加できるとか現役世代は公私共に忙しい。気軽に参加できる人間学塾もあってもいいのではないだろうか。そんなことを考えながら四期を迎えたいと思います。

足立研治

私は昨年に卒寿を迎えました。お陰さまで心身共に健康でこの喜びを噛みしめることができ幸せです。余生を小さな一つから徳積を続けることを生き甲斐にしていきたいと思います。

池永辰朗

大きな壁にぶつかり、現在人生の節目を迎えています。この一年間内省した結果、自分を磨くこと、心を高めることが新たな成長を創ると気付き入塾を決意しました。

石黒 尚

回を重ねることに「ご縁の不思議と、大切さを噛み締めています。今期は、妻藤尾まさよの「人質」として参加させていただきますが、みなさま何卒宜しくお願い申し上げます。

植田國義

「学び」と「ご縁」と「心の糧」が詰まっている人間学塾・中之島。今期も継続させていただきまます。どうぞ宜しくお願いいたします。

岡田吉正

社会人として十三年間が経ち一通りのルールは身に付きましたが、今回より深い学びを得る機会を頂きました。しっかりと学んだ心を磨き成長しようと思っております。

一眼は遠く歴史の彼方を、

そして一眼は脚下の実践へ。

森 信三先生

荻原逸子

年始立案の目標が「志高く生きる。プラスの和・輪を広げる」世の中をよくするために自らの志を高め、京大の藤井教授ご提唱の配慮範囲を広げる自分を目指す目的で入塾。

北嶋紀子

日々の生活において、腰骨を立て、整理整頓を心がけ、清潔に保てるよう身も心も引き締めていきたいと思っています。今期もどうぞよろしく願います。

小寺啓之

今月高貴高齢を迎え、加齢と共に体力も衰え連泊の旅行、ドライブの後疲れが残るようになり、また非日常空間を愉しむことができるこの人間学塾に今期も入塾いたします。

○ 大きな努力で、小さな成果を――。

○ 来る人には楽しみを、
帰る人には喜びを――。

鍵山秀三郎先生

小南昭雄

昨年第三期生として初めて入塾。一年間多くのことを学びましたが、学ぶことの楽しさを、この年になって知ったように思います。四期はどんな学びがあるのか、ワクワクしています。

澤野井健志

今年で二期目になります。少しでもいろいろなことを吸収して、家族や自分の周りにいる人たちに役立つように、実践していきたいと思います。みなさま宜しくお願いいたします。

下 正晴

「無私の日本人」に登場する十穀屋十三郎のような人になる。自分をどんな人間にする。会社をどんな会社にする。お掃除の会をどんな会にするかをハッキリ、常に意識します。

師は居ながらにして与えられるものではない。
「求めよ、されば与えられん」というキリス
トの言葉は、この場合最深の真理性をもつ。

森 信三先生

田中 檀子

「人生二度なし」森信三先生のお教
えを「人間学塾・中之島」で学び直
すのが人生の再スタート。第四期は、
聴いて話して笑うこと。楽しみを共
に分ち合ひましょう。

中村 隆行

中国在住ですので、半分くらいし
か出席できませんが、人間学塾・中
之島の異空間の学びを通して、人間
形成に励みたいと思っております。
皆様よろしく願います。

那須 千恵

立腰・呼吸法の実践で自分を取り
もどす。

西川 由美子

病気で休んでいましたが、お陰さ
まで活動時間も長くなってきました
ので、「今期は通える!!」と判断し
ました。みなさまにお会いしたいか
ら、ガンバります!! 感謝

野依 佐千子

よく言えば、生活の一部になって
いるから。悪く言えば惰性。前者と
すべく精進したいと思います。

橋本 美津枝

学びを止めた時・人は老いると教
えられました。すぐれた師とたくさ
んの学友のみなさんとのご縁に感謝
し、知的好奇心を失うことなく多く
の学びを得たいと思います。

木

お花が散って
実が熟れて
その実が落ちて
葉が落ちて、
それから芽が出て
花が咲く
そうして何べん
まわったら、
この木は御用が
すむかしら。

金子 みすゞ

林 えみ子

西中務弁護士のご紹介で入塾いた
しました。以前から何度か単発で参
加しておりましたが、講師の先生方
が素晴らしく、継続して参加したい
と思いい入塾いたしました。

本田 実

二期三期と学びに参加するごとに、
学ぶことと、普段の自分との乖離を
感じます。共に学ぶ方々からも刺激
を受けます。人まねでも一隅に灯を
灯せる人になる為に通い続けます。

古瀬 正昭

今度は、小南昭雄様の熱意あるご
勧誘にて入塾させていただきました。
一生涯が学びと申しますが、年齢的
にもみなさまにご迷惑お掛けするこ
とと存じますが、宜しくご指導のほ
どお願いいたします。

松下 龍二

何事にもぶれない考え方と、志を
もつ為にこの塾に学び、その学んだ
ことを少しでも実践し、人間力を高
め、世の中の中に役立つ人間になる。

三浦 しげみ

人知れずいい行いができる人にな
ります。いつも私を思い出してもら
えるように!!

今年も学ばせて頂きます。

宮本 しん子

これからの老後をどう生きていく
か、ヒントを探し、悔いのない充実
した人生にしたいと入塾しました。
ご指導宜しくお願いいたします。

宮本英章

四十五年間会社人間としての人生にビリオドをうち、また新たなスタートを切りました。この塾がより良い学びと実践の場として、さらなる成長をしていきたいと考えています。

山崎千晶

人間学塾・中之島で学んだことを日々の中で、チャキスマイルで実践していきたいと思います。第四期も入塾できましたこと、感謝しています。

山田 司

さらに前進！四期の新しい方のご縁と、共に学べる喜びを噛みしめ、自分磨きの四期の一年に挑みます。道友、尚友がおられるからこそ、念々志学してまいります。

和島文明

一年前から掃除を始め、多くのことを気づかせてもらいました。一流の先達から知識や経験を学ぶことで、さらに人間としての器を大きくしたいと思い入塾しました。

吉田臣造

この世に派遣せられた目的を達成する為、七十歳代を元気に生きていくこと。

吉田秀則

即今着手＋コツコツと一つひとつ確実に成果出しを図る。

「Bグループ」



明石恒夫

顧みれば二十歳で就職、三十四歳で創業後仕事一筋にて「少年老いやすく学なり難し」せめて松原泰道先生に習い、「帰る時来る時よりも美しく」と願い勉強の覚悟です。ご指導ください。

石井常夫

小生は昭和一桁生まれ。現役経営者として、若い従業員に日本の歴史の良さを教え、良い生活習慣を身につけさせ、人類の為になる製品を作り、世界に尊敬される日本の会社になりたい。

島村不二夫

仕事は生涯現役で続けることができれば幸せです。心に減ることのない貯金を増やし、人生を豊かに過ごすことができればと思い、いろいろ学ばせていただければ幸せです。

今西利美

一日三十分以上読書をする。

臼田一男

天分塾から通算すると、今期で十年目となります。変化の激しい時代の流れの中で、職場再建を目指して森信三先生の教えを塾生のみならずと共に、学び続けます。

岡本 尚

一つひとつの出会いが点であって、振り返れば線になっている。という感覚を、人間学塾・中之島では、体感しています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

身近な人のご恩がわからなければ、真の幸せにはめぐりあえない。

東井義雄先生

角高憲治

人生は、どういう言葉を使い実行するかということです。今期もいい言葉に出会い、少しの勇気を出して実行に移し、しかも継続して結果を出すところまでいきたいと思っています。

久米井孝夫

昨年初めて入塾させて頂き、今年での勉強会にない、大人の塾に共感させて頂き、今年もいろいろな体験を楽しみにしています。今期も宜しくお願いします。

小西則久

熟していないものは、「おのずから」熟されていく。日々、喜怒哀楽のなかにある「はたらき」に気づきながら、熟されていく未熟なわたしを観てまいりたく存じます。

近藤宏枝

自分の分度で実践する為に、学びをより深めることが目的です。

感謝報恩の心を抱くほど、人は真に力を尽くすことができる。

安岡正寛先生

嶋田 泉

点と点が線に、線と線が面に、そしてそれらの面が幅広いご縁となつて繋がり、さらには高き志で深まり、厚みができますことを念に念つて、第四期に臨みたいと思います。

志村隆夫

天分塾から人間学塾と引き続き学ばせて頂きありがたく感謝いたします。素晴らしい先生方の講義を受講し、素敵な塾生の方々と共に学ばせていただける幸せ心から感謝いたします。

杉本千鶴

もっと成長したい。もっと知らないことを吸収し、器を広げたいと育ての父に相談し、人間学塾を教えてくださいました。ワクワクしています。宜しくお願い申し上げます。

田中順一郎

森信三先生の全集は、哲学・医学・天文学・経済実務等の体系があり、私は森心学に則った人間実践を深め、本学阪大の偉人方に学ぶことをその目的とする。

中村博美

私が中之島の地を訪れるようになってから、はや七年目になりました。当時の私は、自信家のようにありました。私はみなさんのように謙虚になる為に通っていますが、毎年落第のようです。

西尾千恵子

①前向きで心が広く爽やかな人たちの塾 ②感動の学びで実践しようとするイチオチオン ③良き学びや実践は、良きご縁に繋がっていく。死ぬまで進行形で過ごしていく為に！。

「一日不読 一食不喰」

(一日読まずんば 一食喰わず)

という覚悟をもって読書に打ち込むのです。

森 信三先生

西田京子

出会いと学び。これが楽しい。今期はどんな世界が広がるでしょうか。

萩 利夫

塾も早十年目になりました。先輩からは、色々なことで私に感化させて頂いております。第四期は、区切りを付けた考えで学んでいき、人生に悔いのない、自然で円満な生活をしていきたいと思っています。

羽星雄之

毎月第二土曜日は、人間学塾・中之島の日と決めて十年を超えました。より広く、より深く講師の先生方や塾生の方々から知識や体験を自分のものになりたいです。

林 秀宣

私たちの生活や仕事は、当たり前ではない「平和」という礎・恩恵の上に在ります。世界の情勢を鑑み、いま必要なのは、史実と先哲に学ぶことです。共に歩んで参りたいと存じます。

福本浩之
前期は初めての参加で皆さんについていくのが精一杯でした。今期は自分の思うように行動したいと思います。そして来期、成熟の時を迎えたいと思います。一層精進します。

堀りか
毎日の生活に新しい学びと、新しい縁が欲しいと感じている時に、お声をかけて頂き、思い切って行動にうつしました。

前田知美
ひとつの言葉と出会うために学びます。よろしくお願いします。

町田豊彦
私は生涯学び続けること、縁を大切にすること、利他に生きること、その認識を深め実践することで、少しでも世の中の役にたち幸せな人生を送る目的で入塾を決めました。

松島敏裕
非日常の重要性、スイッチの切替の大切さ、そんなことをこの中之島で教わりました。今期も休みがちになりそうですが、継続して学びを頂きます。ありがとうございます。

宮本信江
講師の先生方、塾生のみなさまをお手本に今期もしっかり学ばせて頂きます。

八尾彰一
この素敵な学びの場があることはとても素晴らしいこと。役員の方々、お教え下さる先生方、塾生の方々、優しき真心に感謝いたします。

山路直美
難しいことを易しく
易しいことを深く
深いことを面白く

君子終日乾乾しゅうじつけんけんすとは、道を反復するなり。
(乾けん为天てん)
「継続は力なり」で、本物の力をつけるには同じことを繰り返し繰り返し続けていく必要がある。
「終日乾乾」とは、日々邁進し、手応えをつかみ、充実感をともなう実践していくこと。これを日々繰り返し、反復継続することで物事の道が大きく開けていくことになる。
「易经」一日一言より

横井 康
難しいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに、まじめなことをゆかいに、ゆかいなことをいつそうゆかに。感奮興起！

鷺見誠司
昨年入社以来三十三年間勤めてきた会社の子会社に向向し、サラリーマン生活のゴールが見えてきた頃、安岡先生の「真実の生」という言葉にふれ、入塾を決意しました。

吉田東良
第三期では、講師の方々から多くの気づきが与えられ、塾生から誠実さという真摯な態度を学ばせて頂きました。第四期では、より一層の成長を目指したいと思います。

益田宗児	宇田正徳	池内紀子
光田誠次	広瀬育代	市川ヒロエ
	江熊遊斗	伊藤啓介

《大悟徹底》(寺田顧問のお話を抄録させて頂きました)



「天分塾ニュース」

平成17年6月

天分塾が歳月を重ね、ここに第八期を無事発足できることは、何よりの喜びです。しかも新塾生が定員をすでに超え、研修生も定員の確保ができたことは、ホッと安心すると共に、新たな意欲的な取り組みについて、決心覚悟を促すものがあります。

さて今期の塾生・研修生の「お申込書」のまとめを拝見して感じますことの一つは、男女比率の差です。塾生の場合は、従来男性六割女性四割だったのが逆転し男性四割女性六割となりました。研修生はほぼ同数ということです。いまひとつの特色は、平均年齢が、やや低くなりつつある傾向で、四〇代以下が六割を占めるといふ現状です。

ところで、第八期のスタートにあたり、改めて天分塾の「理念」の確認が何よりと思うわけです。ここで最近突発したJR西日本の「脱線事故」を思い起こされることでしよう。鉄道事業の根本的見直しを改めて確認されたことでしょう。

常に私共は「第一義」の確認と自覚を新たにし、自己の責務と責任を果たさねばなりません。即ち

人生の「第一義」は何か
職務の「第一義」は何か
家庭の「第一義」は何か
経営の「第一義」は何か
教育の「第一義」は何か
そこで「天分塾」の三大理念について考えるに、

「一人一人生」とは、「人生二度なし」です。

「一人一天分」とは、「天分の發揮と実現」です。

「一人一使命」とは、「人のため世のため」です。

この「生き方」の三大原理について、いささかのたねまきが出来ましたら何より幸いと念ずるこれが天分塾の理念であります。

《十一月 人間学塾・中之島》

■ 秋季宿泊研修

・日程 11月14日(土)～15日(日)

第一日 開講 午後1時(午後0時30分受付)

相田一人館長(相田みつを美術館)

第二日 浅井周英先生

閉講 午前11時30分

・場所 宿坊「清浄心院」

和歌山県伊都郡高野町高野山566番地

◆ お願い

カリキュラムでは、写経を取り入れていますので、必ず細筆を持参ください。

※ 詳細は、秋季宿泊研修案内をご確認ください。

◇ 聴講へ知人・ご友人のみなさま方をお誘いくださいませ。悠久の地でごゆっくりと――。

《お勧めイベント》

映画鑑賞チケット購入お薦め!!



1890年に日本で起きたトルコ軍艦の事故「エルトゥールル号海難事故」、それから95年後、イラン・イラク戦争の渦中に起きた「テヘラン邦人救出劇」。二つの史実を基に、日本人とトルコ人の勇気と誠意を映し出した真実のドラマが映画となり誕生。塾生の島村不二夫さんが、エキストラで出演されています。

12月5日全国一斉ロードショー

前売り1,000円〈委託販売預かり〉



＝通常1,400円＝

チケット希望の方は、本日販売していますので事務局まで!!

《淀川掃除に学ぶ会》 短信

世話人 志村隆夫

10月4日の日曜日は、朝から秋晴れの爽やかな掃除日和の天気となりました。参加総勢は38名で、集合のあと、丸く輪になって、8時から軽く体操を行い、今回新しく参加された方2名の紹介がありました。9時半には終了し、收拾したゴミ袋の数は、缶類・ビン類・一般ゴミを合わせて約36袋でした。そのなかでも大きなゴミは、貨物トラックの大型タイヤ2本とバイク(ホンダ)などがありました。このところ、川の上流のほうでも各地で掃除を行っているらしいやうでもあり、そのお陰で年々、ゴミが少なくなってきました。絶好の行楽日和にもかかわらず、朝早くから掃除に参加してくださっている皆様には、本当に感謝致します。

追伸 東様や女性の参加者の皆様から、掃除終了後にジャムパンやコーヒーなどの差し入れをしていただきおいしく頂きました。本当にありがたく感謝致しております。

